

特集: ウィーン&ブダペスト CREA クレア・トラベラー

# Traveller

第2特集  
ボラカイ島、セブ島、ボホール島  
日本から最も近い  
楽園アイランドへ。

MARCH 2009 No.14

880yen

BUNGEISHUNJU

3

## Wien & Budapest, Habsburg Empresses

[全102p 永久保存版]

マリア・テレジアとエリザベートが愛した  
2つの古都のすべて

特集

# ウィーン&ブダペスト

ハプスブルク家、皇妃たちの物語。

# エステルライヒャー・ イム・マック

Oesterreicher im MAK

歴史的建造物ならではの豪華な天井と和し、客を時説するのは、  
ロブマイヤー製の美しいシャンデリア。メニューは  
クラシックとモダンに二分され、あらゆるニーズに対応する。

## 最先端とクラシックの幸せな結婚



奥へ奥へと広がる空間。地下にもカジュアルな食空間あり。  
ユニークなインテリアを見学するだけでも価値があるかも。

仔牛肉のミンチで作るウィーン風ハンバーグ。  
口の中でふわっととろける。マッシュポテト添え€12.60。



右/アペタイザーの季節のサラダ€8.2。クリームチーズと  
カボチャとジャガイモのチップス入り。ボリュームあり。  
左/温かいチョコレートのスフレ、サワーチェリー添え。  
スプーンを入れると、中からとろ〜りチョコが。€8.60。



パプリカチキン€12.80。サワークリーム、  
卵、生クリーム、小麦粉で作った  
クヌーデル(団子)を添えて。

のように小さなラン  
プがついていたり。  
で、料理はというと、  
ウィーン料理のクラ  
シック版とモダンア  
レンジ版という2つ  
の流れで構成されて  
いる。何を選ぶか、  
メニューを前に悩み  
そう。

MAKは応用美術博物館の略。中  
世から現代までの家具やガラス製品、  
食器、テキスタイルに至るまで、私  
たちの生活に一番近いアートの触れ  
ることが出来る博物館。頭のエステ  
ルライヒャーは、数々の賞に輝くシ  
ェフ、ヘルムート・エステルライヒ  
ャーのこと。つまり、簡単にいうと、  
博物館の中にあるかっこいいレスト  
ランってことだ。現代美術&デザイ  
ンの殿堂らしく、2006年に全面  
改装されたインテリアは秀逸。シッ  
クだけれどポップ。たとえば、バー  
の上で輝くのはロブマイヤー製作の  
ワイン瓶のシャンデリアだし、シン  
プルで無機質なテーブルにはドット

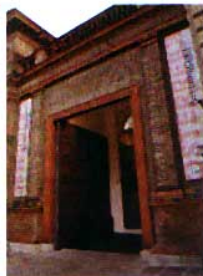


超おしゃれな店なのに、  
安くてボリューム満点

ぜひ、2品、3品のコースを味わってほしい。だ  
から、盛りつけもお値段も抑える。それが、ウィー  
ンを代表するトップシェフ、エステルライヒャー  
さんのポリシーだ。とはいっても、日本人には十分  
なボリュームだ。リーズナブルにたっぷりとい  
ただける。朝、昼、晩と、時に応じて使い分けたい。  
本日のおすすめは黒板に書かれているの  
で、必ずチェックを。バー、カフェ、個室っぽい  
スペースと、空間も自在に使い分けよう。

### DATA

Stubenring 5,1010 Wien  
☎ +43-1-714-01-21  
URL=www.oesterreicherimmak.at  
🕒 8:30~23:30 無休  
map>>p.121-③





太陽の光を受けてブルーがきらめく  
ステンドグラスがはめ込まれた扉。  
この出入口は今は使われていない。



工房担当のレオニドさん。  
工房の上に住み、毎日、  
ここをチェックしている。  
熟練の職人たちの細やかで  
丁寧な仕事には頭が下がる。  
あたりまえだがすべて手作業。  
前近代的にも思えるが、伝統  
こうして守られていくのである。

# WIEN

リビングのための宝石  
テーブルのための宝石

2人の手練れの職人が並んで、正確な動作でガラスの底に直線を削り込む。隣の部屋では、女性職人がガラスの側面に下描きされたカリグラフィに沿って、少しずつ曲線を削る。何百というコッパー・ホイール（銅の円板）を使い分け、太さ、深さ、角度の違うラインを自在に描いている。ここは世界に冠たるクリスタルの名品を生み出す「ロブマイヤー」の工房。独特の鉛を加えない「カリ・クリスタル」で、軽やかさと堅牢さをガラスに与えた功績も大きい。設立は1823年。1835年にはハプスブルク家御用達となる。案内してくれたのは6代目当主のひとり、レオニド・ロタさん。工房担当だ。店担当はいとこのアンドレアス・ロ



1835年、ロブマイヤーが宮廷のために初めてデザインした  
プリズム・カットの作品。現在もときどき使われている。

タさん。いわゆる「ファミリー・ビ  
ジネス」である。

ガラスそのものは別の工房で製作。緑の中庭を望む美しい建物の1階から3階までを使ったこの工房は、様々な時代様式のガラス、シャンデリア、鏡の製作及び修理が主たる仕事だ。すべて手作り。アルチザンの魂がこもった名品群は、まさにここで産声をあげているのである。驚くべきは、細々したガラスのパーツや鎖の類。「数えたことはないけれど、100万種を超えているかも」とレオニドさん。いかなる要望にも応えるべく、大切に保管されている。「ロブマイヤー」の特徴は、その時代時代を代表する優れた建築家やデザイナーを起用し、斬新な作品を発表し続けていること。現在も、この姿勢はいささかも変わっていない。



## DATA

Kaerntnerstrasse 26,1010 Wien  
☎ +43-1-512-05-08  
URL=www.lobmeyr.at  
🕒 9:00~18:00  
📍 月 map>>p.121-⑨

真鍮で作られたシャンデリアのパーツ。  
磨きに磨かれてびっかびか。  
クリスタルのパーツも大小様々。



# ロブマイヤー

J.&J. Lobmeyr

ウィーンの上宮からNY ストロホリタン劇場まで、  
世界に名だたるランドマークを輝きで満たす  
シャンデリア。卓上を華麗にエレガントに  
演出するグラス。クリスタルの美に触れよう。

伝統と現代が交錯する  
麗しき美の世界。

